

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 4 区分
 【発行日】平成 21 年 7 月 9 日 (2009.7.9)

【公開番号】特開 2006-179106 (P2006-179106A)
 【公開日】平成 18 年 7 月 6 日 (2006.7.6)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-026
 【出願番号】特願 2004-370698 (P2004-370698)
 【国際特許分類】

G 1 1 B 5/78 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 5/78

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 5 月 27 日 (2009.5.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

非磁性支持体と、非磁性支持体の一方の面に、少なくとも 1 層の磁性層を有する磁気テープにおいて、前記磁気テープのエッジウィーブが $1\ \mu\text{m}$ 以下であり、かつ前記磁気テープの最上層磁性層の長手方向の保磁力 $H_{c_{MD}}$ と幅方向の保磁力 $H_{c_{TD}}$ との差 $[H_{c_{MD}} - H_{c_{TD}}]$ が $140\ \text{kA/m}$ 以上 $H_{c_{MD}}$ 以下であることを特徴とする磁気テープ。

【請求項 2】

前記磁気テープの長手方向の角形 $(B_r / B_m)_{MD}$ と幅方向の角形 $(B_r / B_m)_{TD}$ との比 $[(B_r / B_m)_{MD} / (B_r / B_m)_{TD}]$ が 3.0 以上であることを特徴とする請求項 1 に記載の磁気テープ。

【請求項 3】

前記磁気テープの長手方向の保磁力 $H_{c_{MD}}$ と幅方向の保磁力 $H_{c_{TD}}$ との比 $[H_{c_{MD}} / H_{c_{TD}}]$ が 2.2 以上であることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の磁気テープ。

【請求項 4】

前記磁気テープの長手方向の保磁力 $H_{c_{MD}}$ が $160 \sim 400\ \text{kA/m}$ であることを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の磁気テープ。

【請求項 5】

カートリッジケース及び前記カートリッジケースに組み込まれた請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の磁気記録媒体から成ることを特徴とする、磁気テープカートリッジ。